

キャリアデザイン

発達段階表

兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校

- 「できる」体験の積み重ね
 - 「できた」ことの実感の積み重ね
 - 「集団」を意識させる取り組み
 - 重点目標
基本的な生活習慣の確立
自信と自己肯定感の育成
社会的コミュニケーションの獲得
- 学習形態の工夫
 - 自己決定力・選択力の育成
 - 「働く」、将来を見据えた体験活動
 - 重点目標
自己理解(他者理解)
規範意識の育成
生活自立の創造と確立
- 思春期の「自己肯定感」自尊感情の育成
 - 個々の卒業後の役割の充実に向けた支援
 - 「卒業後の生活につながる」を意識
 - 重点目標
地域を意識した活動
最終学歴としての考え方

小学部

中学部

高学部

支援

転換期

自立

実態把握・基礎形成

基礎から応用への転換期

スムーズな移行支援

姫路しらさぎ
特別支援学校
スローガン

人間関係形成能力 社会形成能力

あいさつ言葉遣い

あいさつ・言葉遣いの習慣化

あいさつ・言葉遣いの自発性を高める

TPOに応じたあいさつ・言葉遣いの獲得する

あいさつを徹底させよう

人とのかかわり

集団活動への積極的参加

集団活動での役割認識・他者理解

他者の考えや個性の尊重 集団内での役割遂行

集団活動を充実させよう

意思表示

日常生活での意思表示の獲得

社会生活に必要な意思表示

自ら相談し支援を求める自己表現ができる

話し合う時間を確保しよう

社会とのかかわりの中で、仕事をしていく生活をしていく基礎となる力

自己理解能力 自己管理能力

自分を知る

自分や他人のよさの気づき

主体としての自己(self-as-knower)を知る

客体としての自己(self-as-known)を知る

ゆっくりと考えさせよう

習慣・マナー

家庭や学校における基本的な生活習慣作り

誘惑に負けない規則正しい生活習慣

社会人として必要なマナーの理解

規則正しい生活をさせよう

夢・目標

あこがれ・夢・目標 ⇒ 意欲的活動

将来への夢 大人への憧れ 目標の設定

進路希望の具体化 新生活への期待と目標

夢を持つ子にしよう

「やればできる」と考えて積極的に行動できる力

課題対応能力

情報⇒知識⇒知恵

身の回りのさまざまな情報への関心

社会的な様々な情報の収集と選択(知識)

職業・社会生活での情報活用力の向上(知)

たくさんの情報を提供しよう

自己選択・自己決定

遊びや活動の選択 自分への問いかけ

自分の個性にあったよりよい選択

職業・社会生活を意識した正しい自己決定力の育

自分で考え選ぶ機会を与えよう

振り返り

気持ちの把握 自分の落ち着かせ方

課題解決のための選択肢の活用・模索

課題解決の選択肢の多様化と自己調整力の育成

原因を探ろう

誘惑や苦難を乗り越え物事を前に進めるために必要な力

キャリア プランニング能力

スケジュール

学校での日課、スケジュールの確認

家庭・学校での中長期スケジュールの管理

目標に向けた計画とそれに伴うスケジュール管理

見通しを持たせよう

やりがい

役割の理解と実行

体験の積み重ねによる仕事に対する理解

働く意識と自分の適性への理解

意欲の育成を目指そう

健康管理

健康に対する意識を持つ 運動の習慣化

健康管理、作業に必要な体力を付ける

職業生活に必要な体力を身につける

体力をつけよう

金銭の扱い

体験を通じた金銭の大切さの理解

消費生活の基本的理解

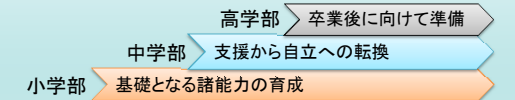
労働と報酬の関係の理解と計画的な消費

お金の大切さを学ぼう

「職業人・社会人」として生涯にわたり必要となる力

発達段階作成の留意点

■小学部⇒中学部⇒高等部を通した一連のキャリア教育の積み重ねを意識しながら、どの子供たちも地域社会へつなげていく個々のキャリア発達を意識している。



計画策定から見直しまでの過程(PDCAサイクル)の履行

- ①: 計画 Plan. 課題解決のための選択肢の策定
- ②: 実行 Do. 選択肢の実行
- ③: 評価 Check. 実行した結果を検証
- ④: 改善 Action. 授業改善、指導の充実発展

●人間関係形成・社会形成能力
『多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し今後の社会を積極的に形成することができる力である。』
この能力は、社会とのかかわりの中で生活し仕事をしていく上で、基礎となる能力である。現代社会では、様々な他者を認めつつ協働していく力が不可欠である。コミュニケーションの基盤となるあいさつの習慣を徹底しながら、あらゆる集団行動の場面で、自己を表現しながら、他者を理解する力を培うことを目標とする。

- 具体的な要素
- 他者の個性を理解する力
 - 他者に働きかける力
 - コミュニケーション・スキル
 - チームワーク
 - リーダーシップ

●自己理解・自己管理能力
『自分が「できること」「意義を感じる」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。』

この能力は、児童生徒の自信や自己肯定感の低さが指摘される中、「やればできる」と考えて行動できる力である。また、社会生活においては、自らの思考や感情を律する力や自ら進んで参画する力がますます重要となる。これらは、キャリア形成や人間関係形成における基盤となるものであり、とりわけ自己理解能力は、生涯にわたり多様なキャリアを形成する過程で常に深めていく必要がある。

- 具体的な要素
- 自己の役割の理解
 - 前向きに考える力
 - 自己の動機付け
 - 忍耐力、ストレスマネジメント
 - 主体的行動

●課題対応能力
『仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。』
この能力は、自らが行うべきことに意欲的に取り組む上で必要なものである。また、知識基盤社会の到来やグローバル化等を踏まえ、従来の考え方や方法にとらわれず物事を前に進めていくために必要な力である。さらに、社会の情報化に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し活用する力を身に付けることも重要である。

- 具体的な要素
- 情報の理解・選択・処理
 - 本質の理解
 - 原因の追究
 - 課題発見
 - 計画立案
 - 実行力
 - 評価・改善

●キャリアプランニング能力
『働くことの意味を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。』
この能力は、社会人・職業人として生活していくために生涯にわたって必要となる能力である。様々な活動において達成感や充実感をもつ経験を積み重ねることを通して、社会人としての新しい生活や働くことに期待を高めながら、より意欲的に現状の課題に取り組む姿勢を持たせることが課題となる。

- 具体的な要素
- 学ぶこと・働くことの意味や役割の理解
 - 多様性の理解
 - 将来設計
 - 選択
 - 行動と改善